

私の好きなピアノ曲集 7 郁子

AAFC 例会資料 福田郁子

ショパン

- | | | | | | |
|---|-----|-----------|------|--------|--|
| 1 | 練習曲 | 作品 25-7 番 | 嬰ハ短調 | 5' 18" | 左手の物悲しい旋律、中間部の激しいクレッシェンド、堂々としたパッセージ等、音楽的な内容の豊かな曲 |
| 2 | 前奏曲 | 第 4 番 | ホ短調 | 1' 42" | 嘆きの歌、緩やかに高潮して再び下降。不協和音と協和音の微妙な掛け合いが魅力的。 |

サンソン・フランソア(P) 1966 年 1924 年ドイツで生まれた生粋のフランス人、10 歳の時コルトーに見いだされ 16 歳でパリ音楽院を首席で卒業。ロンティボー国際コンクールで優勝。アメリカでデビュー後各地へ演奏旅行、自由奔放、個性的で魅惑的な演奏は稀有な天才の瞬間美の如くである

- | | | | | | |
|---|----------|-------|------|--------|---|
| 3 | ハンガリア狂詩曲 | 第 2 番 | 嬰ハ短調 | 9' 48" | リストの故郷に住んでいたジプシーの民族舞踊、チャールダッシュ風の形式が主で、流浪の民の仄暗い情熱＝ラッサン(悲しみをこめた緩いテンポの舞曲)の部分と フリスカ(快活で興奮をあおる舞曲)が織り交ぜられた華麗で魅力的な舞曲 |
|---|----------|-------|------|--------|---|

ミケーレ・カンパネッラ(P) イタリアリスト協会会長 超絶技巧を軽々こなしながら技巧の冴えや指の回りの良さをひけらかさない情緒豊かな演奏は好感が持てる。

リスト

- | | | | | | |
|---|----------------------|-------|------|--------|--|
| | ピアノ協奏曲 | 第 1 番 | 変ホ長調 | | リストの作った 2 つの協奏曲の第一曲 ピアノの華やかな技巧に富む一方、オーケストラもピアノと対等な役割を持つこの曲は、量感に富むことから人気が高く、ヴィルトゥオーソ協奏曲の代表的存在。1849 年に完成。3 年後ワイマール宮廷宴奏会でリスト自身が初演する |
| 4 | I - Allegro maestoso | | | 5' 10" | |
| 5 | II - Adagio | | | 8' 25" | |

マルタ・アルゲリッチ(P) 1941 年 アルゼンチンブエノスアイレスに生まれ、女流ピアニスト、1965 年 24 歳でショパン国際コンクールで優勝。情熱的で奔放な個性と隅々まで真剣で、可能な限りの微妙な色彩の濃淡を 追い求める演奏は、不動の名声と熱烈な人気を定着させている。

クラウディオ・アバド(Con) 1933 年イタリアのミラノに生まれ 30 歳でカラヤンの引き立てにより、ウィーンフィルの客演指揮者に就任、ミラノスカラ座、ウィーン国立歌劇場、ロンドン公共楽団 1968 年 ベルリンフィルの音楽監督を歴任した現代を代表する偉大な指揮者の一人、控えめで 曲に対する真摯さ、細部にわたる正確さに定評がある

グリーグ

- | | | | | | |
|---|--|-------|-----|---------|---|
| | ピアノ協奏曲 | 第 1 番 | イ短調 | 作品 16 | 1843 年ノルウェイに生まれる。19C 後半に勃興した民族主義に基づく国民学派の第一人者、北欧の民族音楽を探求し、その成果を持ち前の抒情性の豊かさで芸術的に昇華せしめ、その北欧の抒情性と彼のピアノニズムを結びつけた数々の作品を生み北欧のショパンとよばれる。 |
| 6 | I - Allegro molto. | | | 13' 45" | グリーグ作の唯一の協奏曲。1868 年、25 歳の時、結婚の翌年長女が出生した年に完成 曲全体から豊かな北欧の清澄さと抒情性が溢れ、シューマンの協奏曲と並んでロマン派双生児的傑作として広く親しまれている。グリーグの親友のノイベル트가、コペンハーゲンで初演し、偶然そこに来合わせていたルービンシュタインは、「この曲を書いた天才によろしく伝えてほしい」という主旨の手紙を残している。 |
| 7 | III - Allegro moderato molto.e.marcato | | | 10' 25" | |

ラドゥ・ルプー(P) 1945 年 ルーマニアで生まれ、6 歳からピアノを始め、リパッティを育てたムジチェス女史に師事。数々の国際コンクールで優勝し「千人に一人のリリスト」と呼ばれ、大変繊細で切れ味のあるピアノには定評がある

アンドレ・プレビン (Cn) 指揮者、作曲家、ピアニストとして クラシック、映画音楽、ジャズ等幅広いジャンルで活躍 NHK 交響楽団の首席客演指揮者。2019 年死去。